



運動会という大きな行事が終わり、ほっとしたところですが…

今日は、1年生が心臓検診、3年生が学校周辺の町探検（保護者が20人近くも協力！感謝！）、5年生は町の栄養士さんが食の指導に来てくれています。出張やオンライン研修に参加する先生が5人。学校では今日も、子供たちのための教育活動が続いています。

運動会余話…

低学年でもちゃんと座って競技を見ることができる。先生に指示されなくても次のことを考えて自主的に動く係の児童たち、下学年の面倒を見る姿が頼もしい。放送では原稿を読み込んできた成果ばかりでなく、アドリブを交えた実況もありました。

活躍する機会があること、それに向けてしっかりと取り組むことで子供たちは一気に成長します。そんな姿があちこちで見られてとても嬉しく思いました。



「運動会は、前日までが勝負。」先生業界？では、このように言われます。

本番までにどれだけ子供たちができることを増やしていくか。子供たちの輝く場所を作るか…。そのためにどれだけ子供たちと関わることができるか。

当日は、子供たちが自分の役割をきちんと理解して、先生の指示などがなくても自分から動けるようにする。先生は目立たずに、にこにこして見ているだけ、ぐらいいなれたら最高！そんな中でも、「ここぞ！」という時や場所にはちゃんというように自分の指導観を高めていくようにしたい、とされています。

もちろん、低学年では黙って話を聴くことさえ難しいものです。整列するにもかなりの時間をかけて指導します。運動が好きな子ばかりではないので、なんとか精一杯できるようにあれやこれやと声をかけたり仕向けたりしますが、うまくいかないこともあり、なかなか難しいものです。それでも、友達を応援する「がんばれ！」という声が聞こえたり、ダンスの練習で子供たちと一緒に踊り、汗をかいたりすることは、子供たちと一緒に作り上げる喜びとなります。こういったことも教師の仕事の醍醐味です。目の前でめきめきと腕をあげて、できるようになったり上手になったりしていく子供たちの表情や取組を見られることは、何よりの喜びです。お互いに様子を見て称賛し合う姿も見られます。認め合い、励まし合う子供たちの姿を見ることができるのも嬉しいことです。

そして、こういった時間は、若手の先生たちには、『先輩の指導法』を学ぶ機会ともなっています。

いかがでしたか？ 改めて、本校の運動会は？

